



熊本県版

No. 242

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

熊本県本部

〒862-0954

熊本市中央区神水

1-30-7 コモン神水

☎096-381-1807

議案・新執行部

満場一致で採択される!

6月12・13日東京の全労連会館2階ホールを会場とし、全国から74名の代議員、10名の評議員と執行部を含め、124名が集まり、議案(本部「不屈」6月号掲載)を討議しました。結果、満場一致で議案を採択し、吉田万三新会長はじめ新執行部を選出し閉会しました。

熊本からは執行部の小田県本部長、代議員として渡邊、関根の計3名が参加しました。3名も参加するのは県同盟初めてのことです。

はじめに、前回大会以後亡くなった増本会長はじめ8名の役員が紹介され、志半ばで亡くなった会員のご冥福を祈って黙とうしました。続いてあいさつに立った吉田万三会長代行は、一つは情

運動の基本

- 一、 治安維持法体制の復活に反対する。
 - 二、 国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であることを認めること。
 - 三、 国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。
- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために



勢をめぐって、ロシアのウクライナ侵略戦争による戦争か平和の議論、アベノミクスへの失敗の原因とする物価高騰と暮らしにくさを指摘し、軍拡が暮らし優先かが厳しく問われていること、二つ目は同盟の組織的な課題として、世代交代を意識した活動の重要性を指摘しました。

「財務報告」「監査報告」が報告されました。

田中事務局長は「報告と提案」でこの間の同盟の成果を具体的に明らかにし、議案を補強しました。会員は目標の2万人には届きませんでした。自主目標達成率は熊本を含め5県、現勢が過去最高となった県が熊本を含めて11県です。この3年間で3114人の新しい会員を迎えました。特別期間の取り組みに挑戦し10人以上拡大したのは小田会長を含め13人、5人以上拡大したのは渡邊事務局次長を含め27人表彰されました。

映画『伊藤千代子』の上映運動は、これまで32県201会場で3万1000人が鑑賞しています。多くの鑑賞した人に感動を与えています。同盟運動を広く知っていただき、運動に参加していただくうえで重要です。

国会請願は今年49回目となりますが、署名数は8万5653筆、現在100人の紹介議員を獲得しています。有権者比は0.09%、残念ながら目標達成率はありません。

以上の報告を受けて、質疑討論に入りました。発言者は2日間で38人、うち女性が9人でした。発言者の主なポイントを紹介しますと、

- ・映画『伊藤千代子』上映運動と同盟建設をどのように結び付けて取り組んだか
 - ・同盟運動を発展させる保証は定期的な会議と学習にある
 - ・支部を作ることの大切さ
 - ・顕彰運動と犠牲者名簿作りの取り組み、などです。
- 最後に、田中事務局長の討論のまとめがありました。
- ・千代子と同盟をどう結びつけるか、映画で同盟を知ってもらえる。2万同盟は千代子と結び付けられる。いつまでもといわず早くやろう。
 - ・来年は50回目の国会請願です。どうしたら署名集めの会



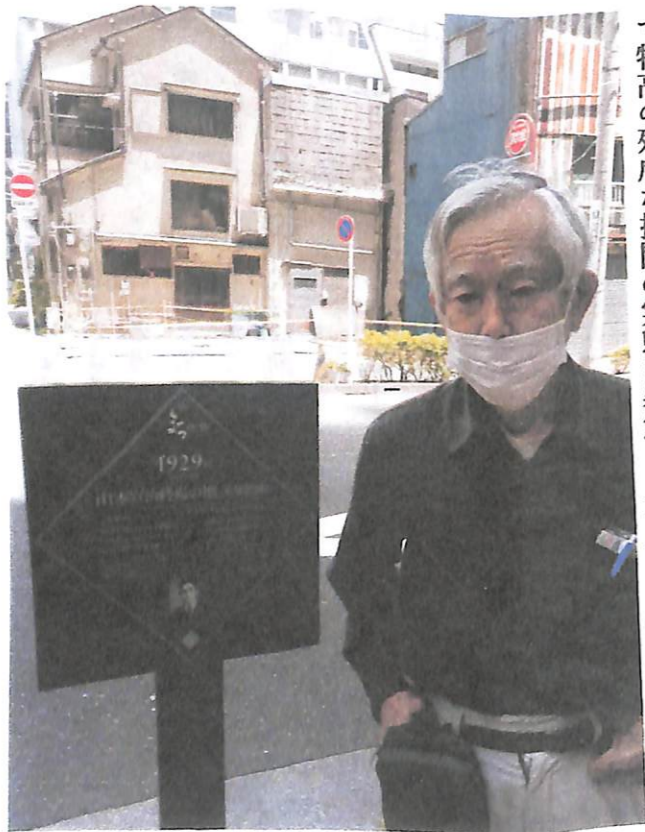
員を増やせるか、ぜひ考えて目標達成しよう。
・会員拡大、支部づくり、成果の出ているところは、定期的に会議を開き、学習している
・犠牲者を顕彰することは、地域の信頼を得ることになる。

私の感想を一言。コロナ禍で全国の活動が見えない中、経験や教訓を直接聞いて、熊本での活動が比較でき、何ができ何ができないのか見えてきたのはよかった。今後の活動に生かす努力をしていきます。無理はしなくてもいい、一人一人の個性が思いっきり生かせるような組織運営が大事だと思います。

(文責 関根)

顕彰碑巡り

大会開始まで時間があつたので、渡邊さんと二人で、山宣の記念碑を見に行きました。東京神保町交差点近くに山宣が投宿し、右翼に暗殺された光栄館の跡地にひっそりと建つ碑です。碑文には、



「まちの記憶 1929年(昭和4年) 山本宣治終焉の地(光栄館跡) 軍国主義の時代、国民弾圧の治安維持法に反対した唯一の代議士。1929年(昭和4年)3月5日夜、定宿の光栄館があつたこの地で右翼暴漢の凶刃により、39歳の生涯を閉じる。」と記されています。

1928年の第1回普通選挙で当選した直後、治安維持法の共産党への初めての弾圧を目の当りにし、山宣はただ一人、国会で特高の残虐な拷問の実態を暴露し、政府を迫りました。

映画『伊藤千代子の生涯』上映運動の途中経過

5月から6月にかけて熊本でも試写会を含めて4会場6回の上映会を開催しました。鑑賞者数は500人を超え、感動を与えました。しかし、見れなかった人がたくさんいらっしゃいます。参議院選挙が終わってから、上映実行委員会で検討して日時と会場を選定します。次回はお見逃し無いようにしてください。

熊本市の会場で回収したアンケートから、いくつか感想文をご紹介します。

▽ 彼女の強さが自分の弱さを恥じています。この方たちがいる現在の平和だと思います。平和を維持するために高齢者だけでも努力します。(79歳・女性)

▽ 先人たちの命をかけたたたかいがあつて、今の民主主義で平和な日本と憲法が作られたことを改めて思い起こすとともに過去の平等で人間らしい生き方を求める心はこの21世紀にも通じる永遠のテーマだと思いました。見に来て本当に良かった。伊藤さんの志は私たちがしっかりと引き継いでいかないとはいけませんね。(48歳・男性・福岡県)

▽ 私の入党のきっかけは、伊藤千代子さんの本でした。「ころざしつたふれし乙女」でした。共産党百年にふさわしい映画

でした。ありがとうございます。(62歳・女性)

▽ 治安維持法の悲惨さがよく理解できた。被害者が今後出ないような活動が大事であると思った。(65歳・男性)

▽ 素晴らしい作品で観に来てよかったです。ブレない、凛とした思いを持つ女性の清冽な美しさと力強さを感じました。彼女の精神を受け継いで現代の活動に活かしていけたらと思います。(69歳・女性)

▽ つらいシーンが多く、途中で会場を出てしまいましたが、耳目を集めるためにわざとセンセーショナルに描いているのではなく、必要なつらさとして描かれているのだ(さらにいうと本物の特高はもっとひどかっただろう)と思います。人間として当たり前の権利を求めて闘ってくれた先輩方のおかげで、私は大学にも行けたし、選挙行けます。でも、ここで終わりではなくて、まだ社会には解決すべき課題がたくさんあると考えています。受け継いだものを決してないがしろにせず、少しでも発展させられるよう頑張ります。(30歳・女性)

▽ 現在のロシアのウクライナ侵略と天皇制の日本のアジア侵略が重なってくる。とても良い映画でした。ありがとうございます。(66歳・男性)

たぐさんの感想ありがとうございます。